



53

# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2021年5月9日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

## 特集「東京パラリンピック開幕まで100日」

16日(日)＝特集面

新型コロナウイルスの感染拡大で1年延期された東京パラリンピックは、16日で開幕100日前を迎えます。大会は8月24日から13日間、22競技が実施されます。障害の程度で

種目が細分化されるため、種目数は五輪よりも多い539に上ります。本番に向けて最後の追い込みに励んでいる主に若手アスリートの素顔や、前回大会から創設された「難民選手

団」の一員として出場を目指すシリア人スイマーの心境に迫ります。競技日程や競技会場地図など、観戦のお供にもなる盛りだくさんな内容です。



東京パラリンピック開幕100日前特集でインタビュにのびたパラ陸上女子走り幅跳びの兎沢朋美選手。藤井達也撮影

## 特集ワイド

### ハンドボール・宮崎大輔選手が語る「コロナ後遺症」

10日(月)＝夕刊特集ワイド



ハンドボール元日本代表の宮崎大輔選手(39)＝写真＝は昨年12月に新型コロナウイルスに感染しました。その後も息苦しさや味覚障害といったコロナ感染によ

る後遺症が続いているといいます。東京オリンピックが目前に迫る中、宮崎さんは今、何を思うのか。苦しい胸のうちを語ってくれました。



子どもの未来を

本で応援

#JETBOOK作戦

児童養護施設

子どもたちに

あなたが人生で出会った

5/31まで

最高の一冊を届けよう

## 論点

### 「孤独・孤立」対策を考える

14日(金)＝オピニオン面

新型コロナウイルスの感染拡大で孤独・孤立問題が深刻化しています。政府は総合的な対策を打ち出す方針を示していますが、居場所のない若者や非正規雇用の女性、高齢者な

ど対象は幅広いのが実情です。「男らしさ」の呪縛にとらわれて助けを求めることができない男性が抱える問題もあります。解決に向けて、どのような視点が必要なのか紹介します。

2月に開かれた「孤独・孤立を防ぎ、不安に寄り添い、つながるための緊急フォーラム」＝竹内幹撮影



## 児童養護施設へ本を

15日(土)

## 18歳のCF

＝くらしナビ面

子どもたちの最高に  
あなたの一冊を  
児童養護施設へ  
送るJETBOOK

OK(ジェットブック)作家のファンディング(クラウドファンディング)を実施し、児童養護施設で育った大学生の女性が

た。きっかけは、同じ施設にいた小学5年生の「本を読みたいから教科書を貸してほしい」という言葉でした。

## 竹橋の窓辺から

編集後記



毎日小学生新聞の読者向けに「毎小ワイルドキッチン」というイベントを開催しています。海外在住の日本人とオンラインでつなぐ、現地の文化や景色を紹介してもらいながら、その土地の料理を一緒にクッキング。ゴールデンウィーク(Golden Week)に開いた台湾編も好評をいただきました。コロナ下の子どもの立場を作っていくために、今後もそんな気持ちで運営していきます。(中本慎二)

新毎日

150  
2022年2月21日  
毎日新聞創刊150年